

## 平成30年度 第1回通学区域審議会会議録

開催日時：平成30年7月11日（水） 午後1時40分から午後2時45分

開催場所：市庁舎3階A会議室

出席者：審議会委員 倉信毅委員(会長)、中山恭順委員、遠山慎治委員、富所緑委員、  
小西薫委員、三代川誠一委員、朝日美晴委員、

市側（事務局） 植松教育長、櫻井学校教育部長、天田学校教育部次長、  
三角教育総務課長、本間主任管理主事、村山学校教育部主幹、  
平岡企画調整係長、池上主査、春名

傍聴者 2名

### 会議の概要

【教育長挨拶】

【会長選出】

【議事】

- (1) 習志野市内の現状について
- (2) 事務連絡等

### 議事内容

- (1) 習志野市内の現状について

#### 事務局より説明

始めに、平成30年度の小中学校児童生徒数及び学級数について説明する。グラフを基に説明するが、本年5月1日現在の小学校児童数・学級数がこちらの資料となる。青の棒グラフが各学校の全児童数、赤の折れ線グラフが普通学級数となっている。この学級数は、特別支援学級の数は含まれていない。児童数・学級数ともに、学校によってかなりの差がある。

次に、現在の大規模校の今後の推移であるが、上段は、学級数で、外書きカッコ内は、特別支援学級数になっている。カッコのついていない数字は、普通学級の数となっている。下段は、左から順に、1年生から6年生の学級数を表している。外書きカッコ内は、特別支援学級数となる。平成35年度に谷津小学校が1582名、普通学級46学級になるのに対し、東習志野小学校では、833名、普通学級24学級になることが見込まれている。

小規模校の今後の推移であるが、袖ヶ浦西小、向山小については、増加傾向にある。一方、秋津小、香澄小については、若干減少傾向にあるが、すべての学年が、単学級になるわけではない。今のところ、今後の推計を注視し、学校の在り方について方向性を検討していく。

このグラフは、平成30年度と平成35年度の小学校児童数の比較である。5年後には、谷津小学校と谷津南小学校が急激に増加することがわかる。

こちらのグラフは、本年5月1日現在の中学校の生徒数・学級数である。青の棒グラフが各学校の全生徒数、赤の折れ線グラフが普通学級数となっている。この学級数は、特別支援学級の数は含まれていない。今後の推移だが、増減の差が大きい中学校を紹介する。平成35年度には、一中が740名、普通学級が22学級、四中が847名、24学級と増加するのに対し、三中が343名、普通学級が11学級、七中が297名、9学級となる見込みである。

このグラフは、平成30年度と平成35年度の中学校の全校生徒数の比較である。5年後には、各校ともに、多少の増減が見られる。

続いて、昨年度の通学指定校の変更の状況について説明する。昨年度、通学指定校変更を行ったのは、ご覧のとおり、鷺沼台のC、Dの2地区である。C、Dについては、児童数増加に伴い、鷺沼小学校の学級数に影響を与えることが予想され、通学区域を変更した。Cについては、鷺沼台2丁目19番の一部、「菜々の湯」の西側に位置し、50戸の戸建てを建築し、平成30年秋前後に販売開始予定となっている。Dについては、鷺沼台1丁目1番の一部、青葉幼稚園のはす向かいに位置する現在建設中の81戸の大型集合住宅で、本年9月に販売が開始される予定となっている。ここを鷺沼小学校から津田沼小学校に変更した。C地区鷺沼台2丁目地域の指定校変更による通学路についてだが、こちらの地図をご覧ください。通学路は、ハミングロードを通るルートでガードレールや樹木で歩道が守られている。ほぼ直線道路であり距離も1.1キロとなっている。このように、通学路の安全は考慮されている。こちらの写真は、今年5月25日（金）の様子である。土地を造成し、工事を進めている状況である。ここからハミングロードをまっすぐ歩いて大久保小に向かうことになる。

次に、鷺沼台1丁目の大型集合住宅の指定校変更に伴う通学路について報告する。地図をご覧ください。赤で示された、場所に、81戸の大型集合住宅が今年秋に完成する。安全確保の観点から青色で示したルートを通学路にする方向で、調整を行った。こちらの写真は、現在建設中の大型集合住宅となる。児童は中央にある横断歩道を渡り、市庁舎方面へ向かう。こちらの写真は、JR線高架下の歩道となる。冬至の日の午後4時15分ごろだが、明るさは十分に確保されていた。こちらは、京成線のガード下付近となる。登校時、児童はこちらを右折することになる。こちらの写真は、京成線沿いの歩道となっている。児童は、写真奥から手前に向かって進み右折し、津田沼小学校へ向かう。

昨年度の通学区域変更までの経緯を説明する。鷺沼台1丁目及び鷺沼台2丁目地域の一部については、昨年度6月の教育委員会会議で諮問され、本審議会で指定校変更を妥当とする旨の答申をいただいた。その後、平成29年7月26日に開催された教育委員会会議において、報告するとともに、「通学区域に関する規則」の一部を改正し、指定校の変更手続きを完了している。また、本年2月22日に「鷺沼台まちづくり会議」において、説明をした。

今年度については、大型集合住宅、大規模な分譲住宅の事前協議は今のところない。そのため、直ちに通学区域の変更をする必要はないと考えている。また、過去数年間の通学指定校変更については、別添資料をご覧ください。

最後に、谷津南小学校のバス通学の現状について報告する。谷津奏の杜地区の児童数増加の対応として、奏の杜1丁目9番、10番、奏の杜2丁目2番の街区の大型集合住宅を谷津南小学校の学区としてバス通学をしている。2029年度までは、3つの地域については、谷津南小学校にバス通学をすることになっている。それでは、谷津南小学校のバス通学の状況について説明する。スクリーンの黄色の3つの街区がバス通学を行っている大型集合住宅である。まず、登校時だが、奏の杜三丁目バス停から乗車し、谷津干潟操車場で下車する。そこから歩いて谷津南小に向かう。下校時の状況だが、谷津南小学校バス停から乗車し、第一中学校の前を通り、奏の杜フォルテバス停で下車する。それぞれ、バスの乗車にあたっては、安全整理員を配置している。谷津南小学校のバス通学の児童数だが、年度当初は、144名で、現在は1名減の143名となっている。将来的な推計だが、2023年度には、593名の児童が、谷津南小に通うと見込んでいる。

バスの乗車状況について説明する。こちらは、4月6日の登校時、7時17分の状況である。続いて、7時26分、7時30分、7時35分、7時44分の状況である。1年生が入学する前の状況である。子供たちは1列に並んでバスを待つということになっている。

続いて下校時の状況だが、乗車については、まず、学校内で並んで待機し、バス到着時間ごろに門の外に集まり、バスが来たら移動し、バス停から乗車している。

また、こちらは、4月13日、1年生入学後の状況である。7時17分が12人、7時26分には31人が乗車した。次に、7時30分の臨時便だが、41人が乗車している。次の7時35分には、19人、7時44分は、17人となっている。こちらの写真は、登校時の降車場所の状況である。バスを降りた後、谷津南小に向かって歩いて登校している。続いて、1年生の下校時の様子である。先ほどと同じように学校敷地内で並んで待機し、門を出て乗車している。

こちらは、雨天時の様子である。1列に並んで、乗車することになっている。最後に、1年生の下校時の奏の杜フォルテバス停での下校状況である。順次自宅へ下校ということになる。

谷津南小の授業参観の日に合わせて、バス通学についての説明をした。その中で、路線の変更、スクールバスの導入、バスの運行状況の確認、バス停への屋根の設置などの様々な要望があった。定期的に意見を伺うようにし、まとめていきたいと思う。今後も引き続きバス通学が、より良いものになるよう、取り組んでいく。

#### 【質疑応答】

中山委員

懸念していることを、質問させていただく。答弁については、後日で構わない。1つ目は、5ページ小規模の学校について、議会でも話したが、保護者の同意の上で、谷津南小学校区かつ第七中学校区の子供たちが秋津小学校へ通うというというのはどうか。七中に行く子がほとんどなので、中1ギャップもなくなる。もちろん谷津南小へ通ってもよい。どちらに通ってもよいということにすればよいと思う。2つ目は、秋津、香澄、袖ヶ浦など小規模校の周りには、大規模な団地がある。教育委員会の枠の範疇を超えるが、都内では、大規模な建て替えなどについて、市が補助金を投入している。なぜかという、市が団地の補助金を出すとそこに新しい住民が入り、税金として還元してくれるという、理由があるからである。建て替えを含めて袖ヶ浦団地など停滞しているところの情報収集をお願いしたい。3つ目は、12ページ、鷺沼小学校区についてである。懸念されるのは調整区域が多くあるにもかかわらず、大久保小、鷺沼小、津田沼小について余裕教室がなくなってきている。調整区域についての開発は、ゼロではないと感じている。開発が始まった場合を想定して、ある程度考えておいた方がよい。4つ目は、谷津南小学校のバス通学である。5年後500名を超えた場合にどうなってしまうのか怖い。バスを借り上げ、まろにえ通りを通るルートも検討に入れるべきではないか。

遠山委員

スライド6ページをみると分かるように児童数にばらつきがある。現状の小学校が、今後推移するにあたり、児童数の規模が平準化されることが習志野市全体の学校・教育の在り方としてふさわしいものなのか。2つ目は、鷺沼小へのバス通学についての現状についてお聞きしたい。

### 三角教育総務課長

鷺沼小学校のバス通学については、マイクロバス5台を借り上げたうえで、警察署の脇、道路が広くなっている場所で乗車し、鷺沼中央跨線橋を渡り、その先の十字路を右折し鷺沼小方面へ坂を上って白鷺園前で下車をしている。市が委託をして運行しているので、学校の行事等に合わせた運行をしている。また、バス通学と徒歩通学を選択できるようにしているので、全員がバスを使っているわけではない。下校については、鷺沼小正門前から乗車し、同じルートを通り警察署の脇で下車している。

### 倉信会長

鷺沼小については、学区の変更によるバス通学ではないということか。

### 三角教育総務課長

そのとおりである。現在鷺沼西跨線橋を改修している。そこを通学路にしていた児童が全員、中央跨線橋を通ると歩道の幅とそこを通る児童の数の関係で混雑が生じる。そこで、バス通学の実施という運びとなった。

### 富所委員

1つ目は、C地区については大久保小学校に行く場合は、どちらの横断歩道を渡るのかお聞きしたい。また、谷津南小のバスの運行について、1時間に何本くらい運行しているのか。マイクロバスを導入することを要望したい。バス停は、雨の日は傘を差さなければならないし、ビル風も強い。雨除けなど何か対策を立ててもらえないか。

### 村山主幹

朝の時間帯のバス運行は、9分おきに運行している。本年度より7時30分に臨時便を出している。下校時間帯については、約20分おきにバスが出ているが、曜日により、下校の時間が違うので、学校と調整しながら臨時便も出している。スクールバスや屋根については保護者からも要望を受けている。今後児童数が増えていく中で、私どもも大きな課題ととらえているので、きちんと検討をした上で、対応していきたい。

### 本間主任管理主事

スライド14の資料を見てもらいたい。ローソン近くの横断歩道か三差路の部分のどちらかになると思うが、まだ確定していないので検討していく。

### 朝日委員

谷津南小、第七中学校区に住んでいる。向山小学校区は自由に選べるというシステムになっているが、秋津小・香澄小にはないのか。一中学校区だが、谷津南小に通っている児童は、七中へも弾力的に通学できるように検討できないか。谷津南小のバス通学については保護者会からも厳しい意見がある。なぜバス通学なのかという、そもそも論も出てきた。学区の問題については、丁寧に今後も説明を重ねてほしい。また、向山小にも行けることを周知してもらいたい。谷津小の子が谷津南小のバスに乗ってしまった事例があった。その対策として定期券のICカード化も考えられる。今後人数が増えるので、スクールバスの要望もあるが、1台に40人しか乗れないので、それはそれで困る。今のバス通学に加えて、

スクールバスを増便し、低学年の子を優先して乗せる等弾力的かつ実行力のある形で検討してほしい。

### 三代川委員

一般の人にとって、臨時便かどうかがわかりづらい。習教研のため、谷津南小の子が帰る時バスに大勢乗って、松葉杖の方が乗れなかった事例があった。何とかならないものか。スライド19だが、JRの高架下は自転車がものすごい勢いで通るので、1年生など低学年の子にとっては危ないのではないか。また、鷺沼小学校区に警察署の辺りに向かって新しい道路を作っている。そうすると通学路も変わってくるのではないか。

### 村山主幹

臨時便については、どなたでも乗れるということになっている。ただ、時刻表には載っていない。基本的には、高齢者などが乗車する状況を確認して、安全整理員が席を譲るよう声をかけるなどしている。学校及び安全整備員との連携を密にして、様々な情報を集めて対応していきたい。

### 小西委員

学区と児童数の問題は、市として将来的なビジョンについて、児童数の推移と学校数の関係を見ながらどのようにして適正化を図るか、学区の意見も聞くことが必要である。谷津南小学校については、人数が増えるので将来的に不安を感じる。学校は地域のコミュニティの核である。奏の杜についての3つの大規模集合住宅のコミュニティについては、分断してしまうのではないかとということも不安な点ではある。

#### (2) 事務連絡等

皆様の任期については、平成30年7月31日をもって任期満了となるが、8月1日から引き続き委員として委嘱させていただきたく、次回の教育委員会会議に議案として提案する予定である。教育委員会会議で議決されたら、改めて委嘱状を交付するので、よろしく願いたい。

次回の審議会は3月18日、月曜日の15時30分よりの開催を予定している。なお、会場については今のところ、この会議室を予定している。近くになったら、改めて通知するが、ご承知おきいただきたい。

それでは、本日いただいた貴重な御意見を踏まえ、事務局で習志野市全体に関わる課題の方向性についてまとめるので、3月の審議会でもそれらについて御意見をいただければと考えている。

【閉会】

主管課：教育委員会 学校教育部 教育総務課